

- 柵原星の里スポレク倶楽部（岡山県美咲町）の支援活動
- 柵原星の里スポレク倶楽部のチャリティーTシャツ販売
- スポーツ用品等の支援のご協力をお願い
- 「スポーツこころのプロジェクト」記者発表（9月14日）
- 「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい

◆◇お知らせ◇◆



★設立当時、活動場所確保に悩んでいた時に参考にした★

▼4-01 公共施設など、クラブの活動場所の確保は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/32.html>

公共スポーツ施設の利用については、借りられる範囲から活動を始めましょう。活動をしていく中で徐々に拡大していきます。また、施設の確保は、公共のスポーツ施設に留まらず、民間企業の施設やスポーツ施設以外の施設なども視野に入れながら確保をめざすと良いでしょう。

▼4-02 学校や大学の施設を借りたり、連携したりしたいのですが。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/30.html>

各学校の事務局を訪ね、施設開放の状況・方法について情報収集を行いましょう。情報を得た後に、子どもの健全育成や地域社会貢献につながるクラブの趣旨を説明し理解を求めましょう。事務局レベルでの対応が難しそうならば、教育委員会や大学の地域貢献担当などに相談するのもよいでしょう。

★指定管理の申請時に参考にした★

▼4-03 「指定管理者制度」など施設に関わる制度や法律の内容は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/8.html>

地方自治法第244条の改正により、従来のように特定の法人などに限ることなく、NPO法人や株式会社などの民間事業者まで拡大し、公の施設の管理を行わせることができるようになりました。多様化する住民ニーズに応えた住民サービスの向上や、行政コストの縮減などが目的です。

▼4-09 指定管理者制度は、活動場所の確保に役立ちますか？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/208.html>

「指定管理者制度」は公の施設を民間が維持管理し、そこで事業活動を行うことができるという制度です。

クラブでは収入や活動場所の確保への期待もあるようですが、指定管理者制度とクラブの目的とを照らし合わせて参入を検討する必要があります。

★クラブハウスがほしくてたまらない時に★

▼4-07 クラブハウスを確保する方法は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/171.html>

行政や地元企業、および地域の各種団体に協力を求め、クラブのスポーツ活動拠点の近くにある学校の空き教室、公共施設や民間施設などの空きスペースなどを確保するのが現実的です。スポーツと全く無縁と思える組織や施設にも目を向けるようにして下さい。

▼4-08 自前でクラブハウスを確保したいのですが。

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/172.html>

クラブ会員の努力と工夫が大切です。設立当初は安い家賃の物件や空きスペースを探すことも考えられます。土地を借り自分たちでクラブハウスを建てたクラブもあります。場合によっては、寄付金を集めたり積み立てをしたりすることも必要です。

★助成金の捉え方・活かし方が学べる★

▼7-11 助成金をうまく使って自立していく方法は？

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/detail/266.html>

助成金で魅力ある新しいプログラムの実験をして自主事業を確立してください。補助財源率を減らしていくために、知恵を出し、地域の人たちの声を聞きながら企画等を考え実行していきましょう。

◆◇東日本大震災 応援情報◇◆

●柵原星の里スポレク倶楽部（岡山県美咲町）の支援活動

柵原（やなはら）星の里スポレク倶楽部のある地域では、かつて台風の被害を受け、自然の恐ろしさを経験しています。今回の東日本大震災は、他人事ではありませんでした。

被災地への支援対策本部を3月11日の夕方、立ち上げ、東京でのクラブマネジャー養成講習会で知り合った全国のネットワークを活用して、支援物資を集めました。

10月1日には、「キャンドルチャリティコンサート がんばろう東北! 『絆』」を開催、福島クラブを招待しました。

▼詳細と写真はこちらから

●柵原星の里スポレク倶楽部のチャリティTシャツ販売

「キャンドルチャリティコンサート」では、1枚1,300円でTシャツを販売しています。収益金の一部は被災地からの声に答えて支援します。色は3色（イエロー、ネイビー、ピンク）、1枚から販売しています。

▼詳しくはこちらから

<http://www.cyerry.net/~hoshinosato/kiji/2011-10-01candle.html>

●スポーツ用品等の支援のご協力をお願い

宮城県及び福島県の両体育協会では、ホームページ上にて、多くの子どもが震災で失ったスポーツ用品の支援をお願いしています。

被災地域子どもたちが1日も早くスポーツ活動を行えるように、ぜひご協力をいただければ幸いです。詳細は、下記関連リンクより、ご覧いただけます。

▼宮城県体育協会ホームページ

<http://www.miyagi-taikyo.or.jp/>

▼福島県体育協会ホームページ

<http://www.sports-fukushima.or.jp/>

●「スポーツこころのプロジェクト」記者発表（9月14日）

東日本大震災で被災した「すべての」子どもたちの、「こころの回復」を応援するためのプロジェクト『東日本大震災復興支援「スポーツこころのプロジェクト」』の記者発表が9月14日、岸記念体育会館会議室にて行われました。

この「スポーツこころのプロジェクト笑顔の教室」は被災した6県（青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県）542校、約46,000人の小学校5～6年生を対象に実施するもので、本年度は300回程度の開催を予定しています。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/news/newsDetail.asp?newsNo=682>

●「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい

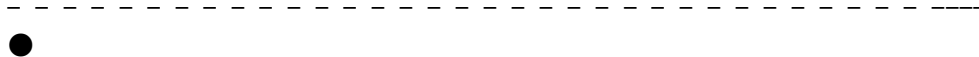
「応援メッセージ」「してほしいこと・できること」をお寄せ下さい。
発信者のお名前（あればクラブ名も）と、連絡先（必要な場合）を書き添えて、以下送信ください（アドレスは発信専用です）。
sc-info@japan-sports.or.jp

＜ご注意＞日本体育協会では、情報の収集・仲介役となりますが、発信内容については発信者の責任のもと、クラブ・当事者間で、直接のやりとりをお願いします。

送信いただいた内容については基本的にそのまま掲載いたしますので、連絡先等、間違いのないようにご注意ください。
また、常識に照らし合わせて不適切な内容は、掲載可否について、こちらで判断させていただくことがありますので、ご了承ください。

◆◇お知らせ◇◆

●



★ＳＣステーション全体 分類・キーワード検索はこちらから★

<http://www.japan-sports.or.jp/local/sc/index.html>



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/mail/>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) 2011Japan Sports Association. All rights reserved